

平成30年度 学校関係者評価及び改善策

(中間・最終)

広中央中学校区 校番 4 学校名 呉市立広中央中学校

評価項目	※評価	理由・意見
目標, 指標の設定の適切さ d,e,g,h	B	目標が一貫してシンプルで分かりやすく設定されており, 全教職員が分かりやすい授業に取り組む意欲にあふれており, 適切であると評価している。 家庭学習についての時間規制は難しいと考える。
目標達成のための方策の適切さ f	A	目標達成のための方策は学習規律と家庭学習の基礎的な面に主眼が置かれており, 生徒にとっても具体性が盛り込まれ, 分かりやすく取り組める項目になっている。 問題行動件数がこの4年間で減少している。
自己評価の結果と分析の適切さ i,j,k,l	A	評価の達成値が各教科において数値化されており, 適切であると考える。学力向上の成果に甘んじず, 問題点を謙虚にとらえて今後に生かそうとする姿を評価したい。
今後の改善策(案)の適切さ m	A	学習規律や家庭学習についても「将来に向けた意義」を日頃から理解させようとする姿を大切にしてほしい。基本的なことを繰り返し, 肯定感を大事にしながら改善策に生かしてほしい。長期欠席の生徒がそのまま卒業ということにならないよう願っている。
その他		生徒の服装の乱れを見ることが少なくなった。地域から見て生徒が落ち着いてきたと感じている。そのことが学力の向上にもつながっていると思う。 校庭の草を抜くなどの作業を通して子どもに「学び舎」を大切に思う気持ちを持たせてほしい。

※ 評価は, A(とても適切), B(概ね適切), C(あまり適切でない), D(まったく適切でない), N(分からない)

学校関係者評価を受けての今後の改善策	学力の向上を図るため, 家庭学習の時間について各学年で目標時間を設定しているが, 家庭学習に費やした時間のみにとらわれず, 課題の出し方を工夫したり, 授業改善を積極的に行ったりすることで, 生徒の学習意欲を喚起させる取組を進めていく。
--------------------	--